

1 開催日時

平成25年7月5日（金）午後2時から

2 開催場所

中央公民館 301学習室

3 出席者

委員：鈴木委員長 小泉委員 土田委員 真如教育長

事務局：阿部学校教育部長 石井学校教育部参事 小俣社会教育部長

岩本学校教育課長 小坂橋統括指導主事 福嶋庶務係長

4 協議項目

- (1) 児童・生徒の学力向上を図るための調査について
- (2) 平成26年度使用東大和市立小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択についての進捗状況・経過報告について
- (3) 東大和市教育委員会委員と東大和市公立学校PTA連合協議会との懇談会について

5 会議の要旨

- (1) 児童・生徒の学力向上を図るための調査について

①主な説明

- ・対象は、小学校5年生及び中学校2年生である。
- ・昨年の7月5日(木)に、児童・生徒に確かな学力の定着と伸長を図ること及び各教科の目標や内容の実現状況を把握し、指導方法の改善に生かすことを目的に実施したものである。
- ・小学校、中学校とも、都の平均正答率を下回る結果となっているが、小学校では、昨年度と平均正答率を比べると、すべての教科で都との差が縮まり、中学校でも、社会・数学・英語においては都との差が縮まった。
- ・授業改善や少人数学習、学習指導員の導入などの取組みなどの成果が出てきていると考えられる。
- ・今後とも、学校と家庭とが連携した学習の継続が大切である。
- ・個に応じた指導や反復練習、習熟に応じた指導の継続が大切である。

②主な内容

- ・学校の危機感が高まったことや管理職の意識改革、少人数学習、学習指導員の導入が良い結果につながったと考えられる。
- ・学校通信に掲載のあった補習を実施している学校の取組みはとても良いと思う。
- ・競争心は、学力を上げるためには良い方向に働くこともあるが、数字だけを見て良い学校、悪い学校と判断されたりすることもある。
- ・管理職には、競争心が必要なこともある。今は、競い合う機会が少ないが、

様々な形での競争心は必要と思う。

- ・成果が出たことに対しては、どういう対応をしたのか、何を行ったのか等の分析をすることが大切であり、具体的な部分、効果等をまとめ、各学校に示すことが大切である。
- ・学力向上は、手品みたいに目に見えるものではないが、毎年の積み重ねが大切である。

(2) 平成26年度使用東大和市立小・中学校特別支援学級用教科用図書の採択についての進捗状況・経過報告について

①主な説明

- ・6月19日に多摩教育センターにて、教科書の展示会とともに調査研究を行い、7月9日に資料作成し、7月27日の定例会での採択に向けて作業を進めている。

②主な内容

- ・市の展示には向かない（一部しか資料配布がない）が、どのように教科書が決まっていくのか等、市民に示した方が良い。

(3) 東大和市教育委員会委員と東大和市公立学校PTA連合協議会との懇談会について

①主な説明

- ・7月25日（木）の午後7時から会議棟にて、教育委員と東大和市公立学校PTA連合協議会との懇談会が開催される。
懇談会のテーマは、①小中一貫教育について②道徳の教科化について③学力向上のための方策について④いじめについて⑤学区についてである。
- ・1項目ずつ、教育委員が回答及び説明を行う。

②主な内容

- ・東大和市公立PTA連合協議会の関係者だけでなく、他の会員の方や連合協議会に加盟していない学校のPTAにも伝わるように工夫してほしい。
- ・教育委員会からの情報の発信の場にもしていきたい。